

校長挨拶

苫小牧市立樽前小学校長 中 嶋 清 人

樽前小学校は苫小牧市の最西部に位置し、北側には樽前山、南側には太平洋が広がり、周囲は牧草地や畑、森林などに囲まれています。また、市内の観光名所の一つである樽前ガローもあり、自然豊かなところです。

本校は、児童数の減少から1995年（平成7年）4月1日、市内であればどこからでも通学できる苫小牧唯一の『特認校』として許可され、『特認校』としての歩みがスタートしました。2024年（令和6年）4月1日現在、複式学級が2、単学年学級が1の計3学級 18名の児童（地元児童2名、特認児童16名）が在籍しています。

本校では、春には「椎茸の駒打ち」「花見給食」「椎茸の収穫・販売」「全校遠足」「樽前地区連合大運動会（保護者や地域住民も参加）」「菜園学習（種まき・苗植え）」、夏には「水泳学習」「見学学習」、秋には「樽前ワークショップ」「地域福祉施設訪問」「菜園学習（収穫）」「特認校授業公開」、冬には「スケート学習」「かんじき体験」など、豊かな自然を生かした活動や特色的な活動が体験できます。また、校地内にある「かしわの森」では、遊歩道を散策したり冬にはかんじき体験をしたり、秋には山葡萄やこくわ、栗などを取ることができます。校地内の椎茸園では、約1,000本の原木椎茸を栽培しており、その品質には定評があります。また菜園学習の中の縦割り班活動による野菜作りで、じゃがいも、人参、玉ねぎを収穫し、カレーライスを作って地域の方々や保護者とともに味わっています。

『夢・感動・ふれあいの樽前小学校』を合言葉に、学校（教職員）・家庭（保護者）・地域社会（地域住民）が連携しながら、子どもたちに質の高い教育活動を提供しています。また、今年の夏には新校舎が完成する予定です。本校の特色的な教育活動や豊かな自然環境、少人数指導に興味をもち、本校でお子様を学ばせたいとお考えの保護者の皆様、機会がありましたら是非本校にお問い合わせください。心よりお待ちしております。